

本論文は

# 世界経済評論 2020年9/10月号

(2020年9月発行)

掲載の記事です



世界経済評論

## 定期購読のご案内

年間購読料

1,320円×6冊=7,920円

6,600円

税込

17%

送料無料

OFF

富士山マガジンサービス限定特典

※通巻682号以降

定期購読  
期間中

### デジタル版バックナンバー読み放題!!



世界経済評論 定期購読



0120-223-223

[24時間・年中無休]

お支払い方法

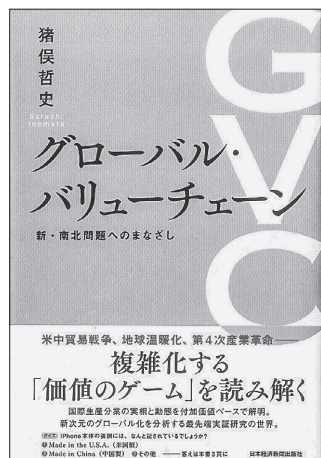
Webでお申込みの場合はクレジットカード・銀行振込・コンビニ払いからお選びいただけます。  
お電話でお申込みの場合は銀行振込・コンビニ払いのみとなります。

Fujisan.co.jp

雑誌のオンライン書店

## グローバル・バリューチェーン ：新・南北問題へのまなざし

外務省経済局国際貿易課長 **安部 憲明**



[著者]

猪俣哲史 (いのまた さとし)

ジェトロ・アジア経済研究所上席主任調査研究員

[発行] 日本経済新聞出版, 2019年7月

[判型] 四六判, 272ページ

[定価] 本体 2500円+税

筆者は、グローバル・バリューチェーン (GVC) を「価値創出と分配のグローバル・ゲームとして見た生産・消費ネットワーク」と定義した上で、すかさず「カリフォルニアのアップルによりデザインされ、中国で組み立てられた」という iPhone の製品表示に触れ、この複雑な概念を読者の手元にぐっと引き寄せる。

GVC の世界では、製品の最終価値を、細分化された生産工程において付加された価値の総和としてとらえる。中国が、米西海岸から輸入した高価な部品を内陸の安い労働力で組み立て、米国市場に再輸出する場合、iPhone の完成品に中国が加えた価値の割合はほんのわずかだ。トランプ政権は、通関書類に記された収支

額を元に中国を非難するが、GVC の付加価値ベースでこれを測り直せば、中国の対米貿易黒字は全体で 23% も減ららしい。筆者は、だから貿易の素顔を暴露する GVC 研究に中国が熱心なものも頷けるし、また、中国を米市場への出荷口とする東アジア特有の生産構造において、日韓それぞれの対米貿易不均衡が中国の陰に隠れているという機微な事実も指摘する。

このように GVC は、貿易の実態把握にレントゲン撮影と CT スキャンほどの違いを生み、貿易を通じた価値創出と分配の関連性を総合的に認識し直す手助けとなる。

だが、本書の真骨頂は、貿易にまつわる国際政治経済を GVC のレンズを通じて洞察する眼力にこそある。

筆者は、先進国と途上国、政府と企業と労働者の間における協調と競争の関係に、捻じれた「新南北問題」が生じつつあると論じる。これまで自由貿易体制の協調の下では、国境を越えて生産工程の分割・地理的分散が進展し、価値を創出してきた。ところが、先進国資本が非熟練労働者を途上国に求めた結果生じた空洞化に、先進国政府は、国内ブルーカラーの雇用を守る保護主義で対応し始めた。一方の途上国は、GVC の高価値領域に参入すべく過激な産業高度化政策で対抗する。かくして、価値の分配を巡る競争は南北間で熾烈を極めていく。貿易の基調が協調から競争に転じる中、筆者は、米国の対中制裁の本質が、ラストベルトの票田目当ての「偽善的な」演技から、現在は、米中ハイテク知的資本間のガチンコの覇権争いに移行したことを看破する。

本書は、各国の経済構造を表す「スカイライン・チャート」や対中競争への露出度に応じて色別された米労働市場の地図等を道標として、テンポよく産業組織論や企業形態論の最新研究に読者を導く。乾いた数字の背後に、チェーンに連なりつつ、米中摩擦やデジタル化に翻弄され挑戦する現場の肉声が響く好著だ。

(あべ のりあき)